

# Illustrator 用テンプレートの使い方

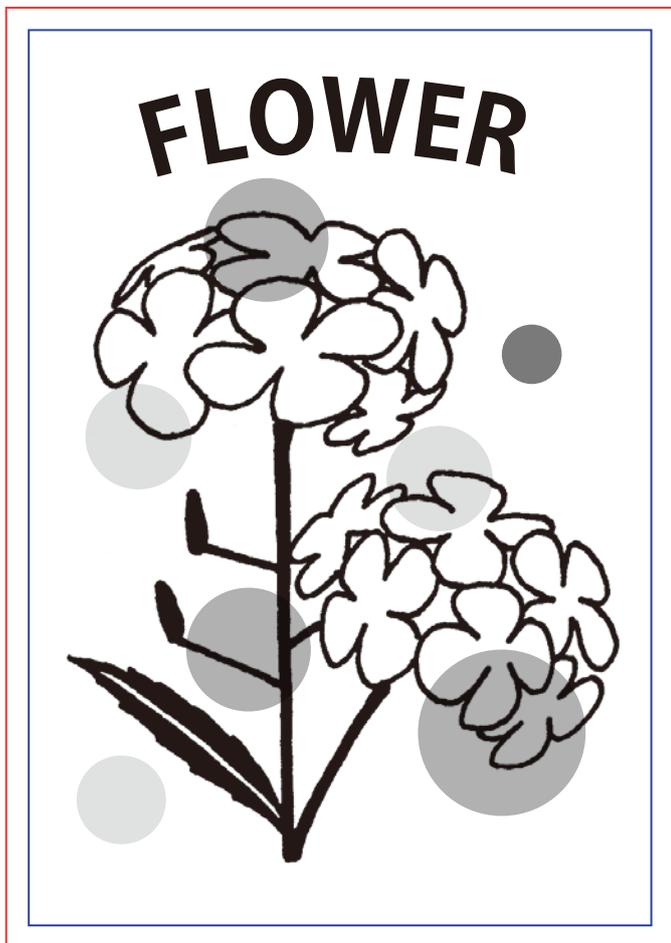
▼オモテ面、ウラ面  
天地を間違えないように！

↑天  
オモテ

Ak  
赤

←カラーチップをセット

※カラーチップは別ファイルデータ  
『インク指示用カラーチップ』から  
コピーしてご使用ください。



▼データはカラーではなくグレースケールで！

印刷データは何色で印刷する場合でも黒1色で作成してください。

インクの濃淡はデータの黒濃度と比例します。

100%で印刷したい部分はK100%で、50%で印刷したい部分はK50%で作成します。

▼テンプレートガイドラインに沿って配置する

フチあり印刷や裁ち落とし印刷などテンプレートラインはテンプレートによって種類が異なりますので、作成前には必ず各テンプレートの説明文をお読みください。

配置に誤りがあると印刷が途切れたり、裁ち落としでも余白が残ったりすることがあります。

基本のデータ作成方法などはレトロ印刷HP  
『原稿の作り方』を参照ください。

## データの保存は1版1ファイルで！

印刷用のデータは製版データの数に分けて保存してください。

例えばオモテ面2色ウラ面1色(2c/1c)のデータを作成する場合は全部で3版分3ファイル必要です。

それぞれのデータ名にも表裏どちらの面か、インクは何色かを付けて保存してください。

(インクの名前はカラーチップについている略字でもOKです)



A4\_omote\_aka.ai



A4\_omote\_kuro.ai



A4\_ura\_K-P.ai

フォルダにまとめて  
圧縮する



※複数件の入稿の場合は必ずフォルダ分けで入稿してください。

# レトロ印刷利用時の仕上がりの注意点

## 版ズレはランダムに発生します！

印刷のズレは意図的ではなくランダムに起こります。色数が多いほど印刷機を通す回数が増しますので、ズレが大きくなる可能性があります。

## 印刷工程上、汚れやすい箇所があります

印刷を行う際は、データ（原稿）を印刷用に複数面並べた形で印刷→断裁して仕上げております。デザインや版の配置、色数によっては下図のように汚れが出やすい箇所があります。

※刷る順やベタ面の濃度を変えることで、汚れを回避できる場合もあります。  
仕上がりに不安な点や気になっている事があればご相談ください。

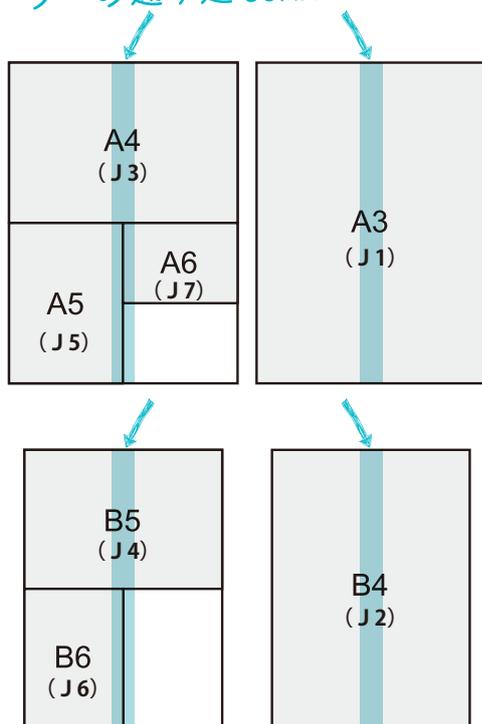
### 1. ローラー跡の汚れ

3色以上でベタがある場合

ベタ面が A3/B4 短辺を結んだセンターライン上にある場合、センターライン上・幅 30mm にタイヤ跡の様な汚れが発生します。

印刷機には A3/B4 用紙の短辺側から通していくのですが、ちょうどその中心に給紙ローラーというものがあります。一度に印刷できる色数は最大2色のため、3色以上の印刷などは印刷機に2度以上用紙を通す必要があります。この際に、ローラーの通り道にインクの乗った面が既にあると、給紙ローラーにインクが付着してしまいます。それが原因で、給紙のたびにローラー跡を残してしまいます。

ローラーの通り道 30mm 幅が汚れます。



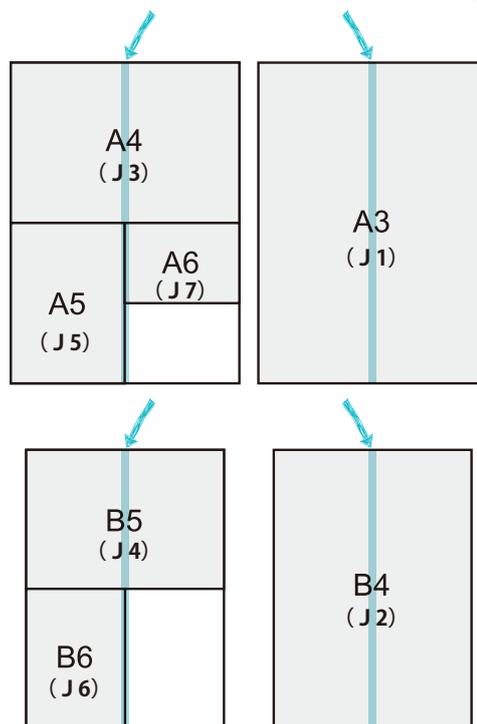
### 2. 針跡の汚れ

ベタがある場合

色数に関係なく、ベタ面が A3/B4 短辺を結んだセンターライン上にある場合、センターライン上に針で引かれた様な汚れが発生します。ベタ面の濃度を落とすと解消される場合があります。

印刷機の中には紙端を押さえる為の針状の小さなパーツがあります。ベタ面など多量のインクを印刷すると、刷られたばかりの印刷面がそのパーツに触れるため、余分なインクが付着してしまいます。それが原因で、次の送られる紙を押さえるたびに汚してしまいます。

針で引っ掻いたような汚れが付きます。



※使用するインクによっては汚れの出方に強弱があります（濃い方が汚れやすいです）  
※レトポ、レトポミニなどは予め上記リスクを回避するように面付印刷をしています。  
120×190 以上の変形サイズや極端にベタが多い場合はそれでもインク移りなどの汚れが出る場合がございます。

上記デザイン上の注意点を、「レトロな風合い・味」として楽しんで頂ければ幸いです。

作業は十分慎重に進めておりますが、全て印刷特性・工程上、回避できないものです。正確さを問うデザイン・規格品のようなキッチリした品質をお求めのお客様は、どうかご利用をお控え下さい。微妙な表現がある場合は、本注文される前に【試し刷り】でご確認下さい。

何卒、ご理解お願い致します。